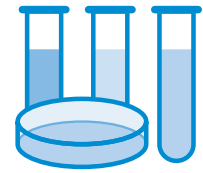


## 細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

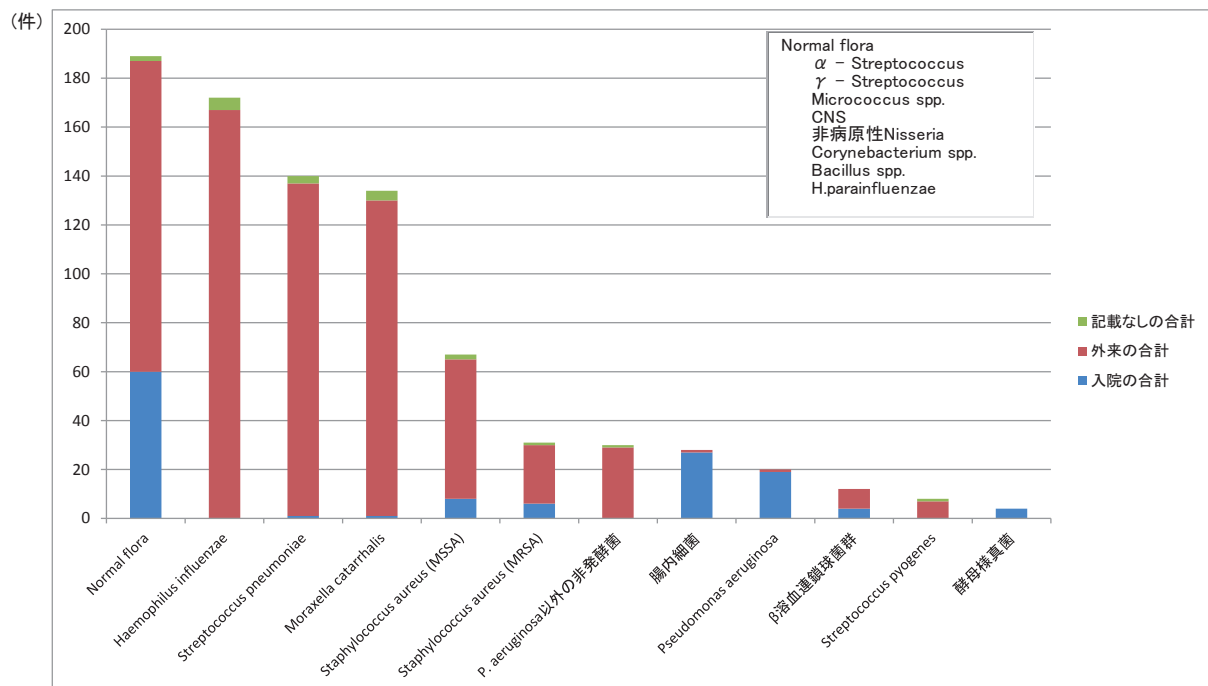


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃の細菌検出状況と、その中で検出されている *Haemophilus influenzae* の細菌薬剤感受性情報を掲載いたします。

### 【細菌検出状況】

【咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃】細菌検出状況 2018年09月



*Haemophilus influenzae* は通性嫌気性グラム陰性小短桿菌で、多型性を示します。ヒトの上気道に常在し、特に小児では高率です。莢膜の有無により莢膜型と無莢膜型に分類され、さらに莢膜型は a ~ f の 6 つの血清型に分けられます。

*Haemophilus influenzae* はインフルエンザなどのウイルス性感冒の二次感染として、上または下気道感染を引き起こします。莢膜型（主に b 型）は小児の細菌性髄膜炎、敗血症、急性喉頭蓋炎、髄膜炎、関節炎などの起病菌として重要です。一方、無莢膜型は肺炎、慢性下気道感染症の急性増悪期、中耳炎や副鼻腔炎などの起病菌として重要です。

上記の表の上位検出菌の *Streptococcus pneumoniae*、*Moraxella catarrhalis* と同時に検出されることも多くあります。

## 【細菌薬剤感受性情報】

2018年9月分

## アンチバイオグラム (Haemophilus influenzae)

系統	薬剤記号	商品名	%		
			S(感性)	I(中間)	R(耐性)
ペニシリン系	ABPC	ピクシリン	35	15	50
	AMPC	サワシリン	32	18	50
セフェム・オキサセフェム系注射薬	CTRX	ロセフィン	100	0	0
	CAZ	モダシン	100	0	0
	CZOP	ファーストシン	18	0	82
	CFPM	マキシピーム	100	0	0
	FMOX	フルマリソ	27	0	73
セフェム系経口薬	CPDX	バナソ	47	0	53
	CFDN	セフゾン	43	0	58
	CFPN	フロモックス	55	0	45
	CDTR	メリアクト	100	0	0
	CFTM	トミロン	99	0	1
カルバペネム系	IPM	チエナム	100	0	0
	PAPM	カルベニン	100	0	0
	MEPM	メロペン	100	0	0
	TBPM	オラペネム	99	0	1
その他β-ラクタム系	FRPM	ファロム	43	0	57
	ACV	オーグメンチン	57	0	43
	STC	ユナシン	27	27	45
マクロライド系	CAM	クラリス	61	35	5
	AZM	ジスロマック	94	0	6
テトラサイクリン系	MINO	ミノマイシン	99	1	1
合成抗菌薬	LVFX	クラビット	99	0	2
	TFLX	オゼックス	93	1	6
	GRNX	ジェニナック	90	0	10
	ST	バクタ	82	9	9

Haemophilus influenzae は一般にアンピシリン、第三世代セファロスポリン系薬およびニューキノロン系薬に感性です。しかし、近年アンピシリン耐性株が増加しており、その耐性株は下記の3つに分けられます。

- ・BLPAR : β-ラクタマーゼ産生 ABPC 耐性株
- ・BLNAR : β-ラクタマーゼ非産生 ABPC 耐性株
- ・BLPACR : β-ラクタマーゼ産生アモキシシリン・クラブラン酸耐性株

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況についての情報をご覧いただけます。

<http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>

検査科微生物係